

# 条例改正 補正予算

9月定例会は、9月5日から9月30日まで開かれ、条例改正、補正予算、請願、議員提出議案など計25件を審議しました。



本会議資料  
(HP)



議案  
51号

知立市廃棄物の減量及び適正処理に関する条件の一部を改正する条例

「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に基づき、指定袋で処理するプラスチック製容器包装物をプラスチック資源物として収集

ごみの排出抑制を目的として、可燃物用ごみ袋、大の価格は1袋6円値上げにより19円、小の価格は10円に据え置きで改正



条例改正案第8条について説明を。

プラスチック製容器包装物とペットボトルを除くごみ袋におさまるプラスチックのみでできた物を新たに収集するもの。



可燃物用のごみ袋を値上げする理由は。

ごみ減量を推進するため。価格設定は、環境省等のデータを参考にし、ごみ減量に効果があるとされる価格を設定した。



## 議案審議のポイント！

### 懸念・疑問点

可燃物用ごみ袋小の値上げ(10円→16円)幅が大きすぎる。根拠が不明確。

### 結論

可燃物用ごみ袋小の価格を据え置くことで、可燃物用ごみ袋小の購入促進につながり、結果ごみの排出量が減り、市民のごみ減量意識が高まるのではと議案修正を行い修正可決。修正可決された部分を除く原案は可決。

### 解説



### 議案の修正とは？

市長から議会に、議案の提出があった場合、本会議および常任委員会等で審査し、議決を行います。議案の内容に対し、議員は必要に応じて議案を修正することができます。議案の修正を行う場合、その議案の目的の範囲内において、修正案を提出することとなります。

# 議員の賛否

市議会での議案や予算案に対する各議員の賛否状況をまとめた一覧です。

議案番号	議案等	篤心会				池鯉鮒クラブ				共産党		公明党		民友		正	結果					
		岩城道雄	中島清志	石川智子	神谷定雄	山崎りょうじ	中野智基	小林昭弼	田中健	永田起也	嶋田義雄	柴田勝	久世泰男	中島孝之	佐藤修	兼子義信		那須幸子	杉浦弘一	神谷文明	川合正彦	
議案第49号	知立市福祉の里八ツ田条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	議長のため採決不参加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
議案第50号	知立市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第51号	知立市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	修正可決
認定第1号	令和5年度知立市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第2号	令和5年度知立市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第4号	令和5年度知立市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第5号	令和5年度知立市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第6号	令和5年度知立市水道事業会計決算認定について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第7号	令和5年度知立市下水道事業会計決算認定について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
請願第3号	小中学校給食費の無償化を求める請願書	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	採択

※塗りつぶされている枠は討論を行った議員

※共産党 = 日本共産党知立市議団、民友 = 民友クラブ、正 = 正和会

全ての採決の様子はこちら



## 議案 49号 知立市福祉の里八ツ田条例の一部を改正する条例

知立市地域福祉センターから知立市総合福祉センターへ名称変更。事業内容も変更。

Q 改正の理由は。

A 老人デイサービスの廃止により国の設置要件を満たさなくなったことから、事業内容と名称を変更するもの。

Q 社会福祉協議会の居宅介護の再開を望むがどうか。

A 社会福祉協議会としては、再開の要望に応えられるよう準備すると聞いている。



## 請願 3号 小中学校給食費の無償化を求める請願書

すべての子どもが給食費の心配なく給食を食べられるように、保護者の家計負担を軽減するために、給食の質を落とすことなく、小中学校の全児童・生徒の給食費を無償にする請願を賛成多数で採択しました。

反対討論「給食費無償化は賛成だが、国が責任を持つべきであり、市独自では事業費捻出が難しい。」

